

# 普通に生きる

静岡県富士市にある生活介護事業所でら〜との取り組みを5年にわたって記録したドキュメンタリー映画



## 自主上映会

(字幕付き)

「どんなに重い障害を持っていても、本人もその  
家族も普通に生きてゆける社会をつくる」

～親たちはこの理念を信じてまっすぐに進んだ～



2012年 **8月18日** (土)

第1回上映 10時30分～12時00分 (開場 10時15分)

第2回上映 14時00分～15時30分 (開場 13時30分)

※それぞれ、映画鑑賞後、30分程度、意見交換の時間を設けます。

**会場 小牧市味岡市民センター講堂** (定員500人)

※鑑賞料金 (中学生以上) 前売券 500円 当日券 600円  
(当日9時30分から販売)

**主催 ここばりこまき**

お問い合わせ先 fax 052-308-3834 e-mail mail@kokobari-komaki.net

後援 小牧市 小牧市教育委員会 (社福) 小牧市社会福祉協議会 (特) こまき市民活動ネットワーク

## 【イントロダクション】

静岡県富士市にある生活介護事業所でら〜とは、『どんなに重い障害を持っていても、本人もその家族も普通に生きてゆける社会をめざす』という理念のもと、親たちの努力で、ゼロから立ち上げた重症心身障害児者のための通所施設である。

重症児の多くは、嚥下障害、呼吸障害等のため、日常的な介護として経管栄養、痰の吸引、酸素吸入等の医療的ケアを必要としている。そのため、でら〜には生活支援員の他に看護師も常勤し、毎日、それぞれの障害や個性に合わせたプログラムで日中活動を支援している。

利用者は多くの人や地域との関わりの中で、社会性を身につけ、誰からも介護を受けられるように成長してゆく。そして親たちも、法制度の改革の波に揉まれつつも行政に働きかけ、自分たちのニーズにあった制度や施設づくりを行い続けてきた。

いずれは親も子もそれぞれの人生を明るく送れる地域社会づくりを目指して、『福祉の受け手から担い手となる』発想が、親たちの新しい未来を切り拓いてきた。

映画は、2つ目の施設建設計画が持ち上がった頃からの5年間を追う。

■作品に関するお問合せ・配給に関するお問合せは

マザーバード TEL & FAX : 03-6913-5591 まで

■「普通に生きる～自立をめざして～」公式ホームページ

<http://www.motherbird.net/~ikiru>



## 会場への交通

名鉄小牧線味岡駅下車、北西へ徒歩5分。

※味岡駅の時刻表等詳しい情報は、名鉄ホームページ (<http://www.meitetsu.co.jp/>) をご覧ください。

【国道41号線(名神小牧インターチェンジ)から】

小牧ICを北上し、横内西交差点を右折。直進約3km左側。

【国道155号線春日井方面から】

新町3東交差点を右折。県道名古屋犬山線を犬山方面へ直進約2.5km、久保新町交差点を左折、右側すぐ。

※駐車場には限りがありますので、できるだけ電車でお越しください。

ここぱりこまきは、小牧市で心のバリアフリーをすすめる活動をしています。しょうがいのある人の日々の暮らしの中には、物理的なバリア、制度的なバリア、文化・情報面でのバリア、こころのバリアの4つのバリアがあるとされています。こころのバリアフリーは、私たちの心の中にあるバリア(しょうがいのある人への偏見や差別)をなくしていこうというものです。偏見・差別という言葉は重いですが、私たちは、まず、しょうがいのある人の暮らしのいろいろなことを知りたい、みんなにも知ってもらいたいと思って活動しています。

